

2015 年 4 月 10 日

各 位

会 社 名 東京センチュリーリース株式会社
代表者名 代表取締役社長 浅 田 俊 一
(コード番号 8439 東証 1 部)
問 合 せ 先 広 報 I R 室 長 松 原 健 志
(T E L 03-5209-6710)

兵庫県多可町におけるメガソーラー発電事業について

東京センチュリーリース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅田俊一、以下「TC-Lease」）と京セラ株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役社長：山口悟郎、以下「京セラ」）、株式会社三菱総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大森京太、以下「三菱総研」）、四電エンジニアリング株式会社（本社：香川県高松市、取締役社長：谷川進、以下「四電エンジ」）が共同出資する多可町安田郷メガソーラー発電合同会社（以下「多可町メガソーラー」）は、このたび兵庫県多可町にて約 14.5MW のメガソーラー発電事業に取り組むこととしましたのでお知らせいたします。

【多可町安田郷メガソーラー発電所の概要】

所在地	兵庫県多可郡多可町中区西安田 458-9 他
事業主	多可町安田郷メガソーラー発電合同会社
出力規模	約 14.5MW
太陽電池設置枚数	京セラ製太陽電池モジュール合計約 55,000 枚
年間予想発電量	合計約 16,059MWh (一般家庭約 4,850 世帯分 ^{*1} の年間電力消費量に相当)
売電先	関西電力株式会社
スケジュール	着工：2015 年 4 月、稼働：2016 年 11 月（予定）

TC-Lease、京セラ、三菱総研、四電エンジの 4 社は、2013 年 5 月、兵庫県公表のメガソーラー候補地情報に基づき関係者による事業検討を開始しました。その後、多可町および地元生産森林組合に対するご提案、様々な法令関係の申請手続き、設備の設計や各種協議を経て、2014 年 10 月に多可町メガソーラーを設立し、2015 年 3 月に林地開発許可を取得し、このほど着工するに至りました。今後、2016 年 11 月の稼働を目指し、現地での工事を進めてまいります。

本発電事業では事業用地約 62ha に京セラ製太陽電池モジュール約 55,000 枚を設置し、加えて、自営送電線設備（約 3km）を設置いたします。年間発電量は約 16,059MWh となる見込みで、一般家庭約 4,850 世帯分^{*1}の年間電力消費量に相当し、また年間約 7,800t^{*2}の CO2 削減に貢献する予定です。

事業スキームについては、多可町メガソーラーが事業運営をおこない、TC-Lease はファイナンスとそのアレンジメントを担います。発電所の設計・施工を四電エンジ、太陽電池モジュールと周辺機器の供給を京セラが行い、維持管理を株式会社京セラソーラーコーポレーションが担当します。三菱総研は事業全体の統括およびコンサルタント業務に加え、多可町メガソーラーの運営業務を担当します。

本事業用地は、地元において有効活用が望まれていた土地でした。本発電所の計画にあたっては、地域の皆様の協力を得るとともに、多可町役場とは様々な面での交流が生じており、今後も地域の発展に貢献できるものと考えております。

TC-Lease と京セラ、三菱総研、四電エンジは本事業を通じ、再生可能エネルギーの普及を促進するとともに、地球環境保全ならびに循環型社会の形成に貢献してまいります。

<多可町安田郷メガソーラー発電所イメージ図>



※1 1 世帯当り 3,313 キロワット時／年で算出 出典：電気事業連合会（2012 年度）

※2 一般社団法人太陽光発電協会「表示に関する業界自主ルール（平成 24 年度）」に基づいて算出

以 上